

得て昨年8月営業開始に
着けた。町内や茅野市、
真北杜市の公園駐車場な
方所ほどこで営業し、常連
できてきたという。
ここで起きた突然の故障。
に回れなくなり、「販売

岡谷工業高と同窓会、市に資料寄贈

岡谷市の岡谷工業高校と同窓会は16日、強豪として野球部関連資料や、養蚕・蚕校同窓会は16日、強豪として野球部関連資料や、養蚕・蚕



寄贈された御子柴資料や蚕の模型

市に寄贈した当時の高校野球を「シルク」が支えたことを伝える貴重な資料だ。

市立岡谷蚕糸博物館で有効活用してもらおうと贈ることにした。寄贈品の多くを占め

市 東バル跡地ともに可能性探る 試験活用する事業者募集

諏訪市は、湖岸通りの旧東洋バルヴ諏訪工場跡地（諏訪湖イベントひろば）を試験活用する事業者などを募集している。旧東バル跡地一帯について、市は民間事業者の参入も進めつつ再整備する計画。事業対象地の可能性を探る機会として活用してもらおう。

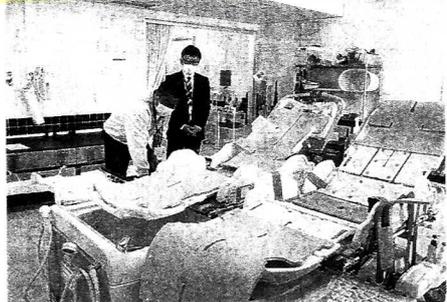
それぞれ日額2万8千円、3万円貸し出す。対象は企業やNPO法人の他、個人事業主や任意団体も含む。実施事業はイベントひろば基本計画に沿った内容で、今後、イベントひろばの開発に参画する可能性や意欲があることなどが条件という。

基本計画では、既存の建屋を解体し、ものづくりへの支援を柱に交流や防災機能、観光拠点となる複合施設を整備することを掲げている。民間事業者の参入を想定し、宿泊施設や飲食、アウトドア用品販売ができるスペースや、サイクリング拠点などを設ける構想もある。

試験活用期間は4月～2023年1月末で、利用期間は個々に調整する。「一緒に新たな可能性を探る期間にしたい」と市企画政策課。希望する事業者は活用したい期日の2カ月前の月末までに申し込む。問い合わせは同課(266・52・4141)へ。

信濃医療福祉センター 寝たままでも介助 特殊浴槽を導入

下諏訪 児童らが利用



信濃医療福祉センターが導入した特殊浴槽

下諏訪町の医療型障害児入所施設「信濃医療福祉センター」は16日、入浴に介助が必

要な人向けに導入した特殊浴槽を公開した。競輪・オートレースの公益財団法人JK A(東京)の補助で整備。約30人の児童らが利用する。同センターには約100人の児童がおり、入浴は週4日。浴槽は長さ約2.5、深さ約50センチ。浴槽の左右には利用者を寝かせるストレッチャーがあり、そのまま浴槽に入れることができる。首や肩を温める肩掛けシャワー機能なども付いている。

「競輪公益資金による補助事業」から補助金598万余を受け、797万5千円で購入した。同センターの内川俊行事務部長は「利用者を寝たまま介助でき、介助する職員負担も軽減できてありがたい」と感謝していた。

中小企業の経営者の皆さんへ

事業承継にあたり金融機関借入の連帯保証人の解除支援制度を